

## 2019年度 大阪星光学院中学【算数】大問2

$\frac{1}{2019}$ から始まり、分母が1ずつ減り、分子が一定の数（整数）ずつ増える数列を考えます。

(1)

$\frac{1}{2019}, \frac{2}{2018}, \frac{3}{2017}, \frac{4}{2016}, \dots$  という数列は、

[ ] 番目が約分してちょうど1になります。

(2)

$\frac{1}{2019}, \frac{3}{2018}, \frac{5}{2017}, \frac{7}{2016}, \dots$  という数列は、

約分して1になる数は出てきませんが、[ ] 番目ではじめて1より大きくなります。

(3)

このような数列のうち、約分して1になる数がでてくるのは、分子を1ずつ増やしたときと、

[ ] ずつ増やしたときと、[ ] ずつ増やしたときだけです。

